

# 取扱説明書

**DAYTONA**

R25105 ①/⑩

\*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

\*本書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

\*本商品もしくは本商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。


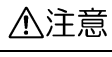









 <p><b>FENDERLESS EDGE</b> フェンダーレス - エッジ -</p>	適応車種	商品NO.
	MT-07 ('14-'21)	25105

## ■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※本商品の使用をもって、音所と保証書記載の内容全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らずに使用したことによる事故や損害については、当社では一切の責任を負いません。

※商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行なっております。内容をご理解のうえ、本書とシートと一緒に保管してください。ご購入履歴が不明な場合は当社所定の保証を受けられません。あらかじめご了承ください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

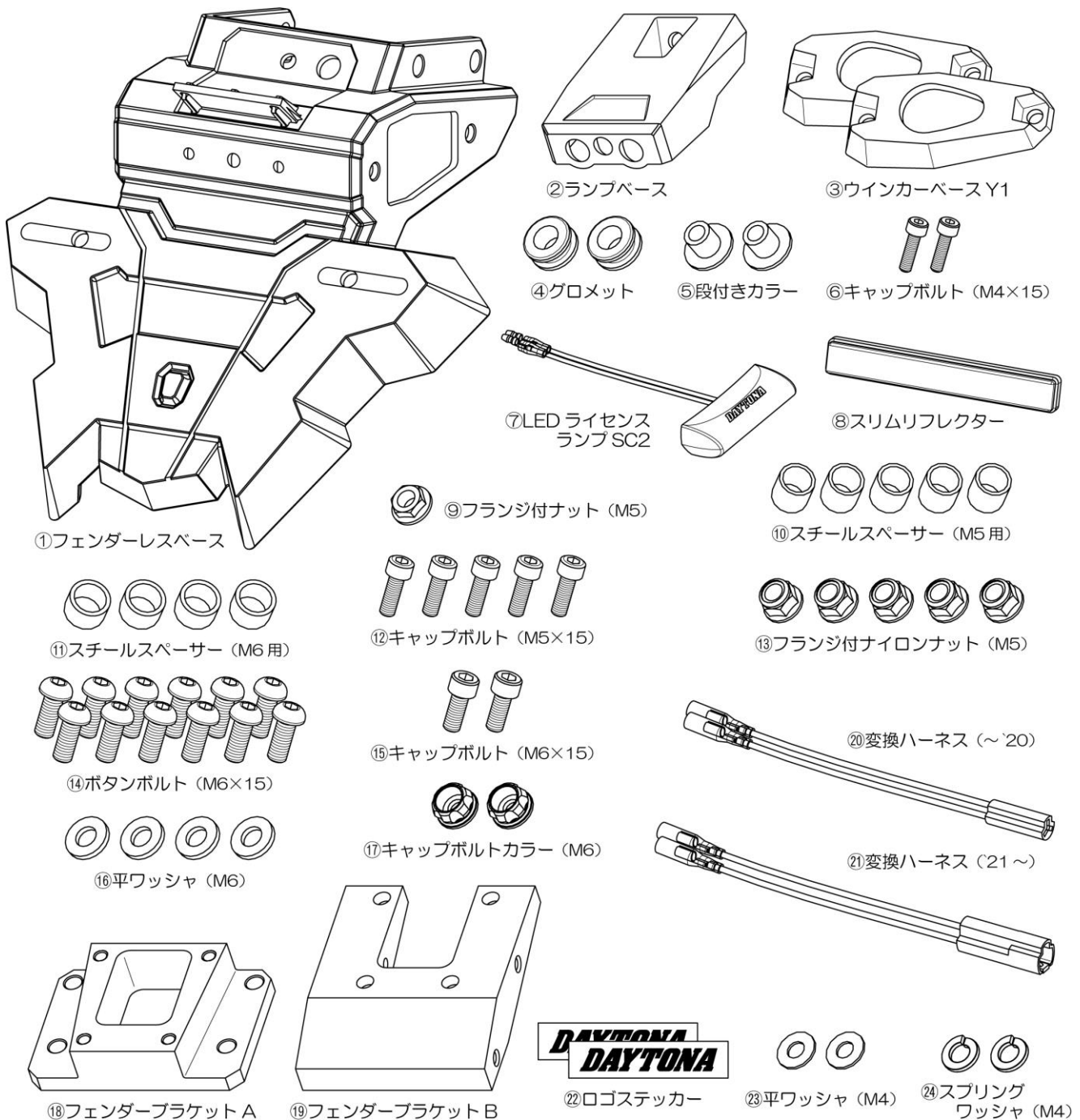
	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。		
	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。		
	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		禁止の行為であることを告げるものです。
	条件次第では法令違反となることを告げるものです。		その他の警告及び注意を告げるものです。
<b>警告</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市販のナンバープレートベースや電装アクセサリなどは、本商品に取り付けしないでください。重量オーバーや振動増幅などにより、ステーなどが破損する原因となります。</li> <li>市販のナンバープレートフックなどを装着して、荷物の固定をしないでください。本商品に無理な力が掛かり、ステーなどが破損する原因となります。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談ください。</li> </ul>		
<b>注意</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本商品は記載している適応車種以外には使用しないでください。</li> <li>パッケージ開梱時や商品取り扱い時にパッケージや商品の端面、突起、バリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。取り扱いの際や洗車を行なう際は必ず保護手袋などを使用し、ケガには十分に注意して作業を行なってください。またエッジや突起部がある場合は、ヤスリなどを使用して適切な処理を行ない、取り除いてください。</li> <li>本商品を開梱の際は、構成部品や外観の不具合、異常がないことを必ずご確認ください。万一お気づきの点がありましたらご使用前にお買い求め販売店へ速やかにご相談ください。</li> <li>本商品の取り付けは、安全のために販売店または認証工場へ依頼し、専門知識を持った方が作業を行なってください。</li> <li>作業は周囲の安全を確保し、安全な場所で車両を安定させたくらうで行なってください。</li> <li>ボルト、ナット類の締め付けにはトルクレンチを使用し、必ずそれぞれのサイズに合った所定の締めトルク、または本書に記載されたトルクで締め付けを行ない、確実に取り付けしてください。また記載がない箇所については、メーカー発行のサービスマニュアルを参考に取り付けを行なってください。</li> <li>取り付け後約 100km 走行しましたら各部を必ず点検整備してください。その後は約 500km 毎に必ず点検整備を行ない、各部に異常がないか確認し、必要に応じてネジの増し締めを行なってください。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本商品に加工を施し、商品所定のナンバープレート取付角度を変更しないでください。商品の破損原因となるだけでなく、保安基準に抵触する場合があります。</li> <li>本商品を装着した場合に車両の全長が変わる場合があります。車検の際は検査官の指示に従ってください。</li> <li>本商品を未登録車両に取り付けしないでください。</li> <li>本商品のLEDライセンスランプ SC2 は、車体装着時のナンバープレート角度を基準に角度設計を行っており、その際の明るさは基準に適合しております。(道路運送車両法の保安基準 36 条-番号灯 -および別添 63-番号灯の技術基準-)</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は、一切お受けできません。また商品保証は、本商品のみ対象となります。</li> <li>本商品は素材や製造方法により製品個体差があります。表面処理や小キズ、歪みなど程度の差はございますが、仕上り品質は、お手元の商品程度となります。あらかじめご了承ください。</li> <li>本商品の構成部品は、アルマイト処理されたアルミや樹脂などを素材としております。ご使用環境や経年変化、メンテナンス状況により色落ちや素材劣化（サビ含む）が早期から進行する場合がございます。あらかじめご了承ください。</li> <li>本商品を取り付けすると、タイヤによる水やほこりの巻き上げで商品内やカウル内、ナンバープレートの裏側などに、よごれが生じやすくなります。</li> <li>本商品を取り付けすると、純正荷掛けフックが使用できなくなります。</li> <li>本商品を取り付けた場合に車両側の取り付け面や、その周辺にキズが付く可能性があります。</li> <li>仕向地の違いにより、純正部品の形状や脱着方法が異なる場合や取り付けできない場合があります。</li> <li>車検場によっては車両全長の記載事項の変更を指示される場合があります。その際は検査官の指示に従ってください。</li> <li>本商品は予告無しに価格や仕様の変更をすることがございます。また文中にご紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。</li> </ul>		

## 本商品の特長

- 純正フェンダー同様PP樹脂を採用したエッジの効いた「フェンダーレスEDGE」が登場！
- LEDライセンスランプSC2とスリムリフレクターを採用し、スッキリしたリヤビューを演出。
- 2021年新基準ナンバー角度に対応しております。

## 商品内容

NO	パーツ名	サイズ	数量	NO	パーツ名	サイズ	数量
①	フェンダーレスベース	PP製	1	⑬	フランジ付ナイロンナット	M5	5
②	ランプベース	PP製	1	⑭	ボタンボルト	M6×15	12
③	ウインカーベース Y1	PP製	2	⑮	キャップボルト	M6×15	2
④	グロメット	ゴム	2	⑯	平ワッシャ	M6	4
⑤	段付きカラー		2	⑰	キャップボルトカラー	M6	2
⑥	キャップボルト	M4×15	2	⑱	フェンダーブラケットA		1
⑦	LEDライセンスランプSC2		1	⑲	フェンダーブラケットB		1
⑧	スリムリフレクター		1	⑳	変換ハーネス	~20用	1
⑨	フランジ付ナット	M5	1	㉑	変換ハーネス	21~用	1
⑩	スチールスペーサー	M5用	5	㉒	ロゴステッカー		2
⑪	スチールスペーサー	M6用	4	㉓	平ワッシャ	M4	2
⑫	キャップボルト	M5×15	5	㉔	スプリングワッシャ	M4	2



## 取付方法

### 【作業前の注意事項】

- 純正部品の取り外しについては各メーカー発行のサービスマニュアルを参照して正しく行ってください。
- 作業を始める前に周囲の安全を確保し、車両を安定させて、転倒や怪我などに十分注意して作業を行ってください。

## プッシュリベットの取扱方法

### ■ プッシュリベットの使用方法 ■

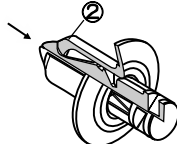
#### プッシュリベットを取り外す場合

- ①部のピンを押し込み、クリップ自身を抜き取ります。

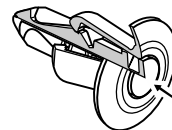


#### プッシュリベットを取り付ける場合

- ②部のピンを反対から押し込み、ピンを本体から飛び出させてから穴に本体を差し込みます

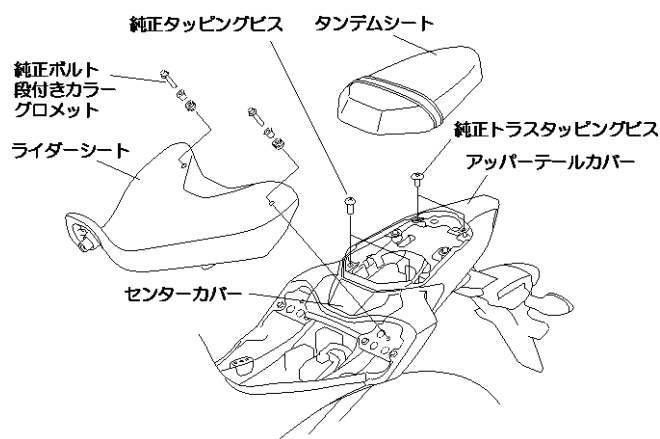


ピンを押し込んでロックします。

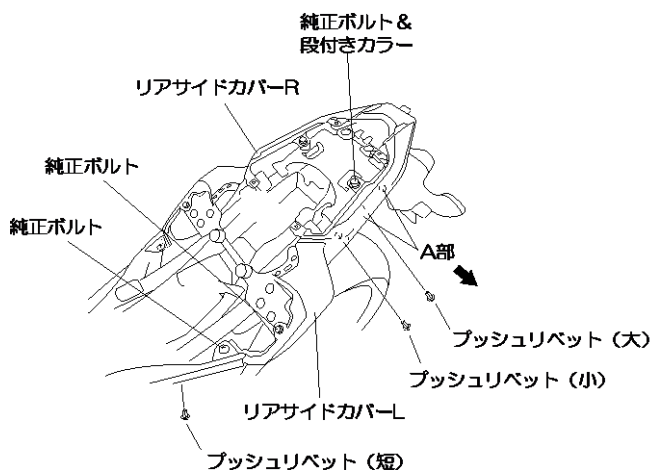


## 純正フェンダー取り外し方法

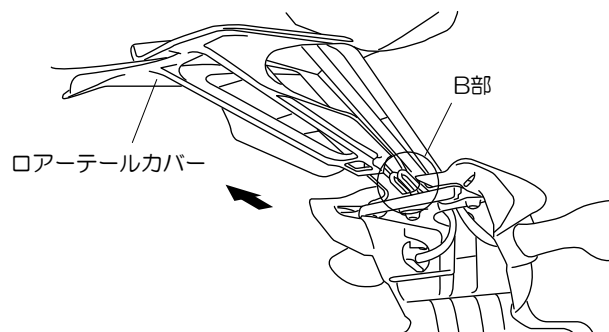
1. キーを使い、タンデムシートを外します。
2. ライダーシートの後端両サイドをめくり、純正ボルト（2本）、段付きカラー、グロメットを外し、ライダーシートを外します。
3. 純正タッピングビス（2本）を外し、ツメに注意しながらセンターカバーを取り外します。
4. 純正トラスタッピングビス（2本）を外し、アッパーテールカバーを後方へスライドさせながら取り外します。



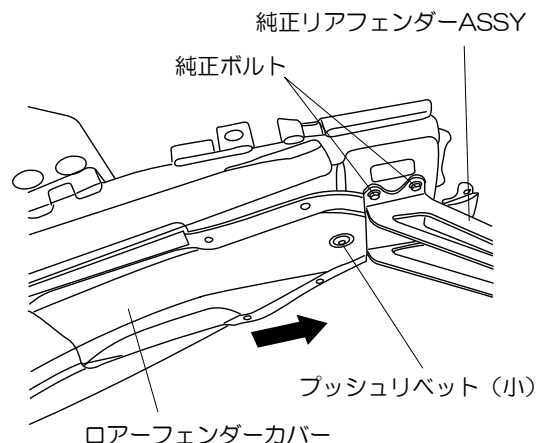
5. リアサイドカバーL の裏側のプッシュリベット（大、小）を外します。  
※プッシュリベット（大）は使用しませんので大切に保管してください。
6. リアサイドカバーL 前側のプッシュリベット（短）を外します。
7. 純正ボルト 3本と段付きカラーを外し、A部を外側に引きながらリアサイドカバーLを取り外します。  
※A部はピンがグロメット（ゴム）に差し込んであります。外れにくい場合は潤滑油等を吹きかけることで脱着作業がしやすくなります。
8. 同様の手順でリアサイドカバーR も取り外します。



9. ロアーテールカバーを B 部の差し込みから引き抜き取り外します。



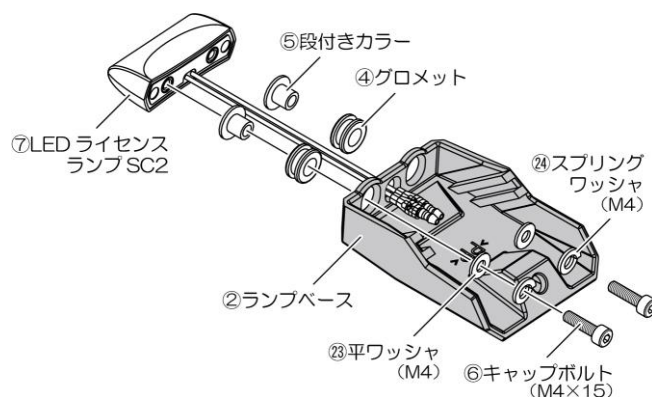
10. プッシュリベット (小) を外し、ローフェンダーカバーを取り外します。  
※プッシュリベット (小) は使用しませんので大切に保管してください。
11. 純正ウインカー、純正ライセンスランプの配線をたどり、カプラー部にて配線を切り離します。
12. 純正ボルト 4 本を外し、配線を引き抜きながら、車体から純正リアフェンダーASSYを取り外します。



### フェンダーレスキット取り付け方法

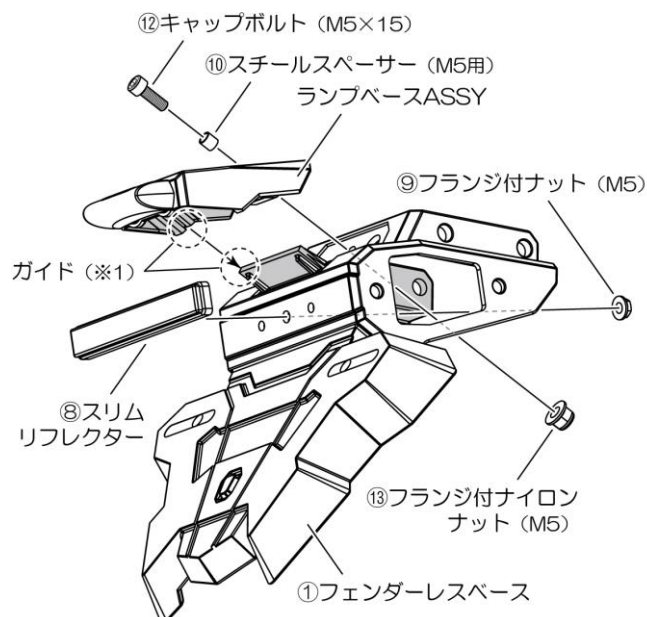
1. ②ランプベースに④グロメットをはめ込み、⑤段付きカラーを挿入します。
2. ⑦LEDライセンスランプSC2の配線を②ランプベースの穴に通し、⑥キャップボルト (M4×15) と③平ワッシャ (M4)、④スプリングワッシャ (M4) にて取り付けます。

※以降、この部品を「ランプベース ASSY」と記載します。



3. 作業 1. で組み付けたランプベース ASSY と①フェンダーレスベースのガイドに合わせスライドさせて組み付けます。その後、⑩スチールスペーサー (M5 用) と⑫キャップボルト (M5×15) と⑬フランジ付ナイロンナット (M5) にて取り付けます。

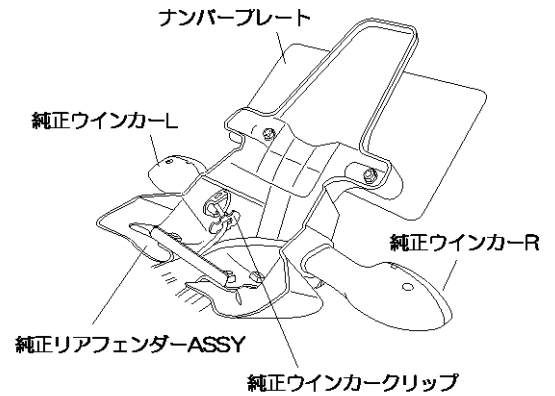
4. ⑧スリムリフレクターを①フェンダーレスベースに⑨フランジ付ナット (M5) にて取り付けます。



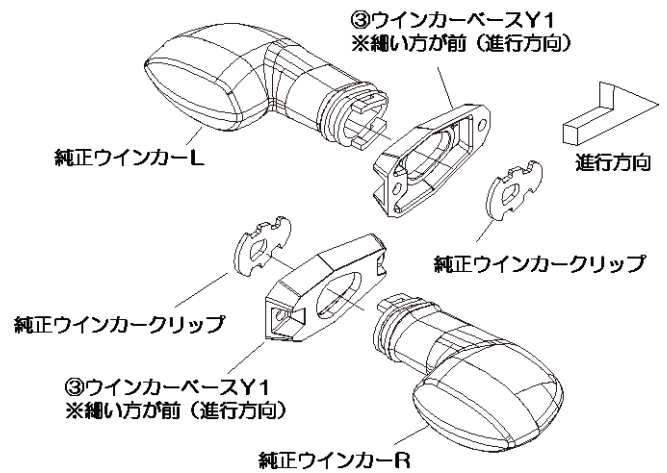
※1…組み付け用のガイドがあります。ランプベースとフェンダーレスベースのガイドに合わせ、スライドさせて組み付けます。



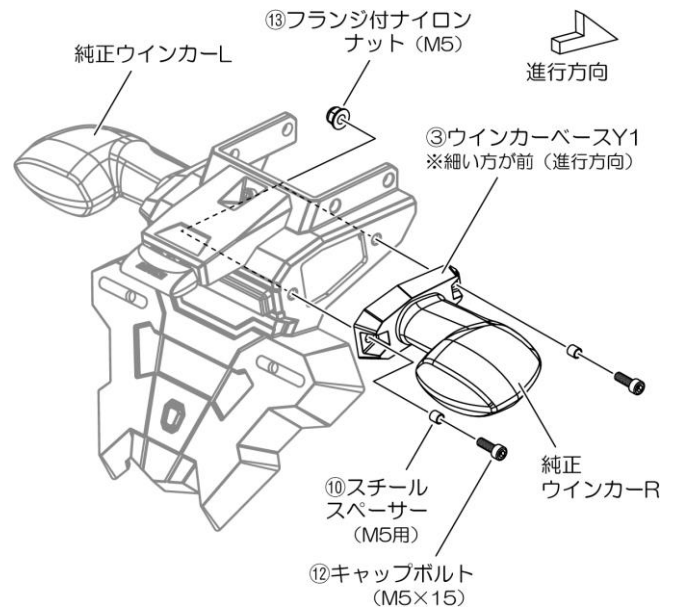
5. 取り外した純正フェンダーASSY からナンバープレートを取り外します。
6. 純正ウインカーL の純正ウインカークリップを外し、純正フェンダーASSY から純正ウインカーL を取り外します。  
※純正ウインカーL、Rを同時に外してしまつと組み付け時に間違いやすいので、片側ずつ移設作業をすることをお勧めします。



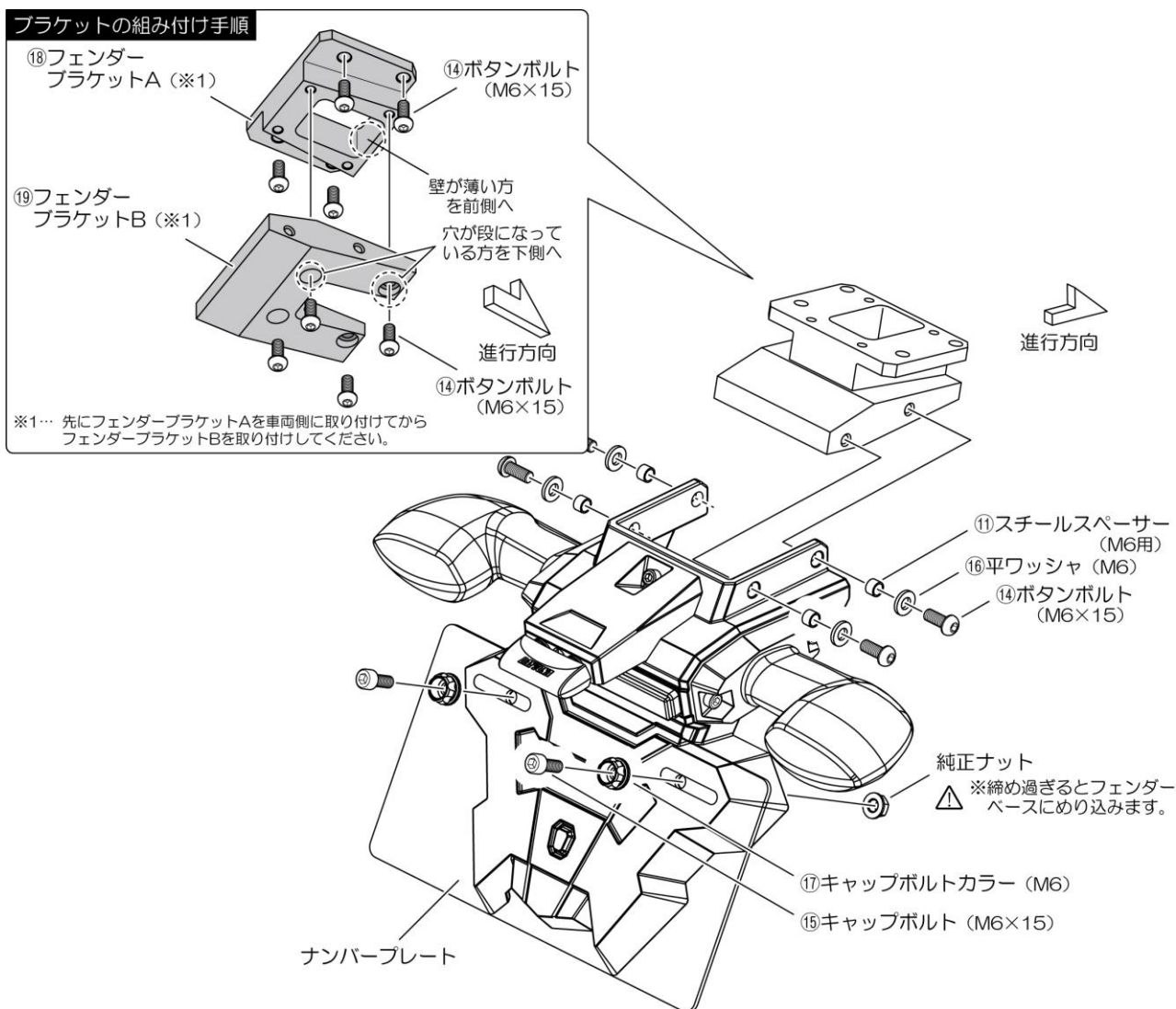
7. 右図を参照しながら純正ウインカーL を③ウインカーベースY1 にはめ込み、ウインカークリップをはめ込み取り付けます。  
 (※③ウインカーベースY1 の細い方が前 (進行方向))
8. 同様の手順で純正ウインカーR も③ウインカーベースY1 に取り付けます。



9. 作業 7、8 で組み付けた③ウインカーベースY1 を①フェンダーレスベースに、⑩スチールスペーサー (M5 用) と⑫キャップボルト (M5×15)、⑬フランジ付ナイロンナット (M5) にて取り付けます。  
 (※細い方が前 (進行方向))



10. ⑱フェンダーブラケット A を車体フレームに⑭ボタンボルト (M6×15) にて取り付けます。  
※⑱フェンダーブラケット A の壁の薄い方を前側へ。
11. ⑲フェンダーブラケット B を①フェンダーレスベースに⑭ボタンボルト (M6×15)、⑯平ワッシャ (M6)、⑪スチールスペーサー (M6 用) にて仮締めします。  
※⑲フェンダーブラケット B ザグリ加工側 (穴が段になっている方) を下側へ。
12. ⑲フェンダーブラケット B を⑱フェンダーブラケット A に⑭ボタンボルト (M6×15) にて取り付けます。
13. 作業 11. で仮締めした⑭ボタンボルト (M6×15) を本締めします。
14. ①フェンダーレスベースにナンバープレート、⑰キャップボルトカラー (M6) を、⑮キャップボルト (M6×15)、純正ナットにて取り付けます。

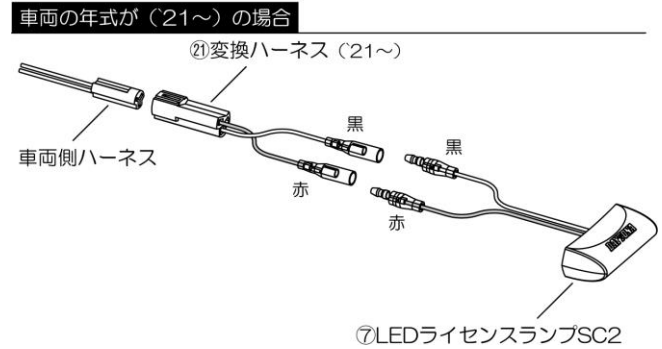
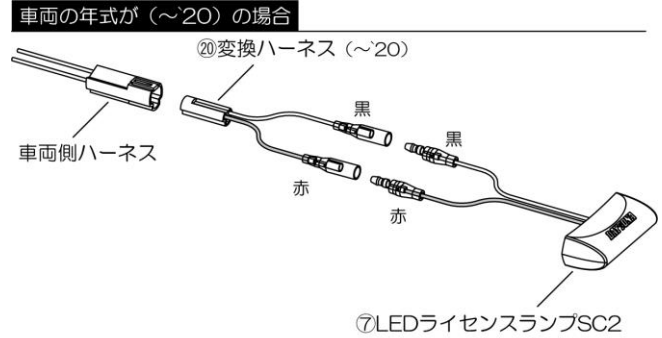


15. 車両の年式に合わせて⑦LEDライセンスランプSC2の配線に変換ハーネスを接続します。

※(～20)の場合は⑳変換ハーネスを使用  
 ※(21～)の場合は㉑変換ハーネスを使用

16. 純正ウインカー及び⑦ライセンスランプSC2の配線をシート下に引き込みながら、車体側ハーネスと接続します。

17. メインキーをONにして⑦LEDライセンスランプSC2の点灯、純正ウインカーの点滅を確認してください。

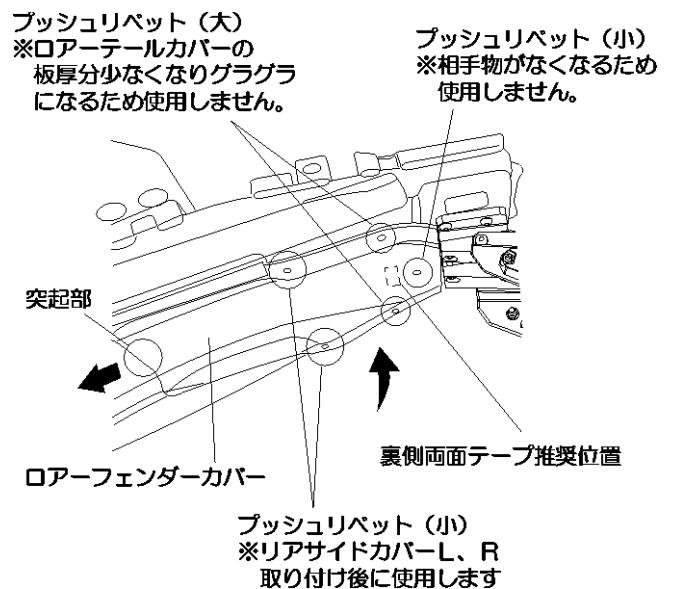


18. ロアーフェンダーカバーの突起を差し込み上側に押し上げます。

※ただしこの状態ではロアーフェンダーカバーは脱落してしまいます。次の作業までこの状態を保持するために、二人で作業することをお勧めします。

※一人で作業される場合はロアーフェンダーカバーの裏側両面テープ推奨位置に両面テープを貼り付け、一時的に押し上げ状態が保持できるようにすると事で代用できます。

なおキットには両面テープは含まれておりません。別途ご用意ください。



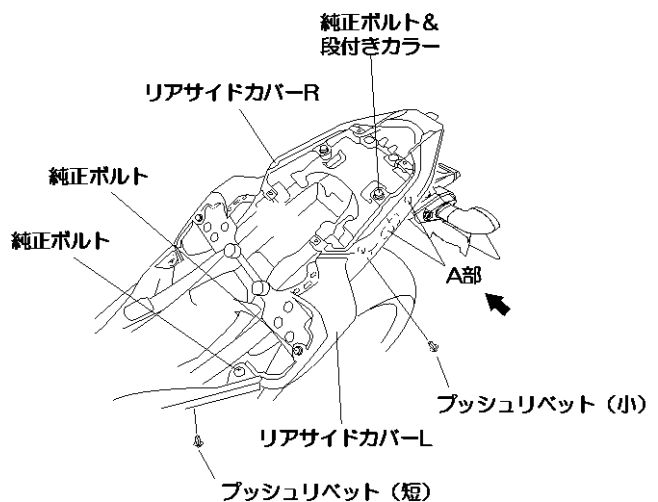
19. 作業17の状態を保ったまま、リアサイドカバーLのA部を差し込みながら内側に寄せ、ロアーフェンダーカバーの穴位置を合わせ裏側のプッシュリベット(小)を差し込みロックします。

(※3 ページ目のプッシュリベットの使用方法を参照。)

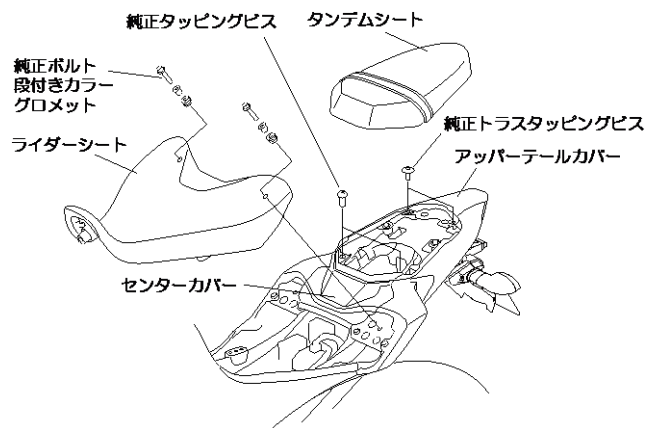
※プッシュリベット(大)はロアーテールカバーの板厚分(約2.3mm)の平ワッシャが別途用意できれば使用可能です。

20. 純正ボルト3本と段付きカラー、プッシュリベット(短)にて、リアサイドカバーLを取り付けます。

21. 同様の手順でリアサイドカバーRも取り付けます。



22. アッパーテールカバーを純正トラスタッピングビス（2本）にて取り付けます。
23. センターカバーのツメをはめ込み、純正タッピングビス（2本）にて取り付けます。
24. ライダーシートの後端両サイドをめくり、純正ボルト（2本）、段付きカラー、グロメットにて、ライダーシートを取り付けます。
25. タンデムシートを元に戻します。
26. 各部をチェックして作業は完了です。



2021 年度新基準よりナンバープレート角度が「上向き 40° ~ 下向き 15°」の範囲となっております。  
このフェンダーレスキットはこの新基準に対応しております。



## 番号灯の保安基準に対する適合

当社製品 LED ライセンスランプ SC(品番 91622)とその LED ライセンスランプを使用しているフェンダーレスキットの番号灯は以下の保安基準に適合致します。(2016 年 12 月現在)

以下の保安基準から番号灯は LED を使用していても別添 63 番号灯の技術基準に適合していれば保安基準に適合するものと判断されます。(当社製品 LED ライセンスランプ SC 品番 91622 は当社実測データより、この基準に適合致します。)

また、後方から LED の直接光が見えていた場合も告示 62 条/告示第 140 条/告示第 218 条にあるように番号灯は除外されている灯火で、LED の光では当該番号灯を備える自動車及び他の自動車の運転操作を妨げるほどのものでないため、保安基準に適合すると判断いたします。

※この用紙は車検の際に必要な場合がありますので大切に保管して下さい。

※以下の文章は二輪自動車の番号灯に関する保安基準、告示、別添を抜粋したものです。

### 保安基準 第 36 条

自動車の後面には、番号等を備えなければならない。ただし、最高速度 20 キロメートル毎時未満の軽自動車及び小型特殊自動車にあっては、この限りではない。

- 2 番号灯は、夜間に自動車登録番号標、臨時運行許可番号標、回送運行許可番号標又は車両番号標の番号等を確認できるものとして、灯光の色、明るさ等に関し告示で定める基準に適合するものでなければならない。
- 3 番号灯は、その性能を損なわないように、かつ、取付位置、取付方法等に関し告示で定める基準に適合するように取り付けられなければならない。

### 告示第 49 条

番号灯の灯光の色、明るさ等に関し、保安基準第 36 条第 2 項の告示で定める基準は、別添 63「番号灯の技術基」に定める基準とする。

- 2 番号灯の取付位置、取付方法等に関し、保安基準第 36 条第 3 項の告示で定める基準は二輪自動車、側車付二輪自動車並びにカタピラ及びそりを有する軽自動車にあっては別添 53「二輪自動車等の灯火器及び反射器並びに指示装置の取付装置の技術基準」に定める基準とする。  
ただし、法第 75 条の 2 第 1 項の規定に基づく装置の型式の指定を行う場合に適用する基準は、別添 54「灯火器及び反射器並びに指示装置の取付装置の装置型式指定基準」に定める基準とする。

### 告示第 127 条/告示 205 条

番号灯の灯光の色、明るさ等に関し、保安基準第 36 条第 2 項の告示で定める基準は、次の各号に掲げる基準とする。

- (1) 番号灯は、夜間後方 20m の距離から自動車登録番号標、臨時運行許可番号標、回送運行許可番号標又は車両番号標の数字等の表示を確認できるものであること。この場合において、番号灯試験器を用いて計測した番号標板面の照度が 30 lx(ルクス)以上のものであり、その機能が正常である番号灯は、この基準に適合する物とする。
- (2) 番号灯の灯光の色は、白色であること。
- (3) 番号灯は、灯火器が破損し、又はレンズ面が著しく汚損しているものでないこと。
- 2 次に掲げる番号灯であってその機能を損なう損傷等のないものは、前項各号の基準に適合するものとする。
  - (1) 指定自動車等に備えられている番号灯と同一の構造を有し、かつ、同一の位置に備えられた番号灯
- 3 番号灯の取付位置、取付方法等に関し、保安基準第 36 条第 3 項の告示で定める基準は、次の各号に掲げる基準とする。
  - (1) 番号灯は、運転者席において消灯できない構造又は前照灯、前部霧灯、若しくは車幅灯のいずれかが点灯している場合に消灯できない構造であること。
  - (2) 番号灯は、点滅しないものであること。
  - (3) 番号灯の直射光又は反射光は、当該番号灯を備える自動車及び他の自動車の運転操作を妨げるものでないこと。
  - (4) 番号灯は、灯火器の取付部及びレンズ取付部に緩み、がたがない等第 1 項に掲げる性能を損なわないように取り付けられていること。
- 4 次に掲げる番号灯であってその機能を損なう損傷等のないものは、前項各号の基準に適合するものとする。
  - (1) 指定自動車等に備えられている番号灯と同一の構造を有し、かつ、同一の位置に備えられた番号灯
  - (2) 法第 75 条の 2 第 1 項の規定に基づき灯火器及び反射器並びに指示装置の取付装置について装置の指定を受けた自動車に備える番号灯と同一の構造を有し、かつ、同一の位置に備えられた番号灯又はこれに準ずる性能を有する番号灯

### 保安基準 第 42 条

自動車には、第 3 2 条から前条までの灯火装置若しくは反射器又は指示装置と類似する等により他の交通の妨げとなる恐れのあるものとして告示で定める灯火又は反射器を備えてはならない。

### 告示 62 条/告示第 140 条/告示第 218 条

保安基準第 42 条の告示で定める基準は、次の各項に掲げる基準とする。

- 3 自動車には、次にあげる灯火を除き、後方を照射し又は後方に表示する灯光の色が白色である灯火を備えてはならない。
  - (1) 番号等
  - (2) 後退灯
  - (3) 室内照明灯
  - (4) 一般乗合旅客自動車運送事業用自動車の方向幕灯
  - (5) 一般乗合旅客自動車運送事業用自動車の社名表示灯
  - (6) その構造が次のいずれかに該当する作業灯その他の走行中に使用しない灯火

- イ 運転席で点灯できない灯火  
 ロ 運転者席において点灯状態を確認できる装置を備えたもの  
 別添 53 二輪自動車等の灯火器及び反射器並びに指示装置の取付装置の技術基準

#### 5.8. 番号灯

5.8.1. 自動車の後面には、夜間後方 20m の距離から自動車登録番号標、臨時運行許可番号標、回送運行許可番号標又は車両番号標の数字等の表示を確認できる灯光の色が白色の番号灯を備えなければならない。ただし、最高速度 20Km/h 未満の軽自動車にあつては、この限りではない。

5.8.2. 番号灯は、運転者席において消灯できない構造又は前照灯、前部霧灯、若しくは車幅灯のいずれかが点灯している場合に消灯できない構造でなければならない。ただし、道路交通法第 52 条第 1 項の規定により前照灯を点灯しなければならない場合以外の場合において、前照灯又は、前部霧灯を点灯させる場合に番号灯が点灯しない装置を備えることができる。

#### 別添 63 番号灯の技術基準

##### 1. 適用範囲

この技術基準は、自動車（最高速度 20Km/h 未満の軽自動車及び小型特殊自動車を除く。）に備える番号灯に適用する。

##### 2. 用語

2.1. 「大形番号標用番号灯」とは、普通自動車であつて、車両総重量が 8 t 以上のもの、最大積載量が 5 t 以上のもの又は乗車定数が 30 人以上のものに備える番号灯をいう。

2.2. 「中形番号標用番号灯」とは、普通自動車、小型自動車、軽自動車及び大型特殊自動車に備える番号灯であつて、大形番号標用番号灯及び小形番号標用番号灯以外のものをいう。

2.3. 「小形番号標用番号灯」とは、二輪自動車、カタピラ及びそりを有する軽自動車並びに被牽引自動車である軽自動車（二輪の軽自動車又は小型特殊自動車により牽引されるものに限る。）に備える番号灯をいう。

##### 3. 試験方法

図に示す試験板を番号標の取付位置に正規の使用状態に取付け、番号灯を点灯した時の試験板上の各測定点における照度を測定する。また、次式により均斉度を求める。

$$\text{均斉度} = \frac{\text{高照度点 2 箇所の照度の平均}}{\text{低照度点 2 箇所の照度の平均}}$$

##### 4. 判定基準

4.1. 3 の試験を行ったとき、各測定点の照度は 8 ルクス（小形番号標用番号灯にあつては 15 ルクス）以上であること。

4.2. 3 の試験を行ったとき、均斉度は 20 以下であること。

4.3. 番号灯の照明部の端部であつて試験板の表面から最も遠い点と試験板の端部であつて番号灯の照明部から最も遠い点（番号灯が 2 個以上備えられている場合にあつては、それぞれの番号灯が照明しようとする試験板の部分に限る。）を結ぶ入射板光と試験板のなす角は、8° 以上であること。

4.4. 番号灯は、試験板上の全ての範囲を照明できるものであること。

4.5. 番号灯の灯光の色は白色であること。

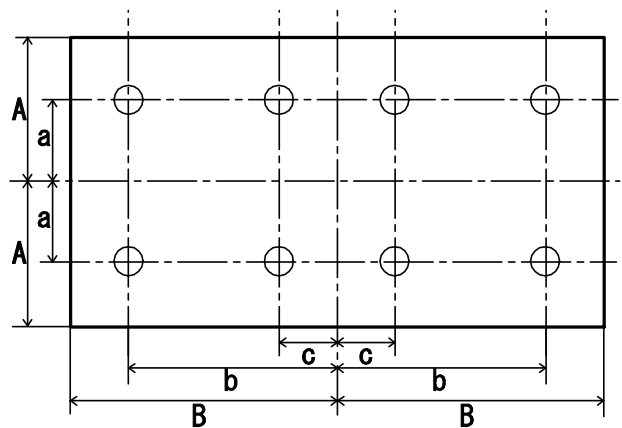
図 試験板

(注)

1. 測定点は直径 25mm の円とし、図中の○印の位置とする。

2. 試験板の測定面は、清潔な白色の吸取紙とする。

3. 試験板の寸法は、番号灯の種類ごとにそれぞれ表の通りとする。



番号灯の種類	A	B	a	b	c	厚さ
大形番号標用番号灯	110	220	60	170	25	1.5
中形番号標用番号灯	82.5	165	50	125	25	1.5
小形番号標用番号灯	62.5	115	35	90	25	1.5

単位 mm

※小形番号標用番号灯とは、二輪自動車に備える番号灯をいう。

東証JASDAQ上場 株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <https://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで

**転載 禁止** 本取扱説明書の内容の一部、または全ての無断転載を禁止